

平成29年度入学者選抜試験問題（前期日程）
「小論文（地域学部地域学科地域創造コース）」出題意図

（問1）では、<資料①>の日本の人口動向と出生率・出生数の推移を表した2つのグラフを読解させ、その特徴を300字以内で要約させるものである。グラフで表された特徴を正確に理解しているかをみるとともに、2つのグラフの関係についても適切に要約ができているかをみる。

（問2）では人口減少問題と、工業化の時代を終えた今後の地域社会のありかたの接点を考えるために必要な視点について、柔軟な発想のもとで自らの考えを展開できるか否かも重要なポイントとなる。その際、<資料①>および<資料②>でみた日本の人口動向および“人口”にまつわる諸論点の双方を理解することに加えて、高等学校公民科の科目などで身につけた知識や社会的課題として報道される様々な情報や意見なども踏まえ、論を展開することが望ましい。なお、ここで具体的に取り上げられる地域社会が何であるかは自由とする。この問題では知識と着眼点を合わせて、様々な意見を取捨選択しつつ論理的に論述することが求められる。このことにより、着想の独創性や論理的思考力、文章構成力、推論力、地域創造の諸問題に対する関心の高さなどを総合的にはかることが可能である。